



## 2021年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年5月14日

上場会社名 株式会社アイリックコーポレーション 上場取引所 東  
 コード番号 7325 URL https://www.irrc.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 勝本 竜二  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 戸谷 元彦 TEL (03)5840-9551  
 四半期報告書提出予定日 2021年5月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年6月期第3四半期の連結業績（2020年7月1日～2021年3月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年6月期第3四半期	3,394	7.2	284	△34.1	290	△33.5	174	△36.6
2020年6月期第3四半期	3,166	5.8	432	△17.5	436	△13.6	274	△12.5

(注) 包括利益 2021年6月期第3四半期 174百万円 (△36.6%) 2020年6月期第3四半期 274百万円 (△12.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年6月期第3四半期	20.40	20.18
2020年6月期第3四半期	32.17	31.74

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年6月期第3四半期	4,004	3,572	89.2
2020年6月期	3,973	3,500	88.1

(参考) 自己資本 2021年6月期第3四半期 3,571百万円 2020年6月期 3,499百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年6月期	-	0.00	-	12.00	12.00
2021年6月期	-	0.00	-	-	-
2021年6月期（予想）	-	-	-	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年6月期の連結業績予想（2020年7月1日～2021年6月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,800 ～5,000	15.1 ～19.9	460 ～500	△4.0 ～4.3	460 ～500	△5.9 ～2.3	280 ～330	△13.4 ～2.1	32.80 ～38.65

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年6月期3Q	8,538,000株	2020年6月期	8,538,000株
② 期末自己株式数	2021年6月期3Q	367株	2020年6月期	201株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年6月期3Q	8,537,735株	2020年6月期3Q	8,537,844株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、2020年5月の緊急事態宣言の解除を受けて、新型コロナウイルス感染症拡大により停滞を続けていた経済活動に持ち直しの兆しが見られつつありました。しかし、昨年11月頃より再び感染者数が増加し始めたことから、2021年1月8日に2回目の緊急事態宣言が発出され、米中対立の加速や米国新政権政策の影響等もあり、景気の先行きに対する不透明感が高まっております。

上記の状況を受けて、一般社団法人生命保険協会の生命保険事業概況における個人保険新規契約(金額ベース)は、1月は前年同月比5%減、2月は同5.5%減と軟調に推移しております。ただ、消費者による保険へのニーズは依然として高く、緊急事態宣言解除後は徐々に回復していくものと考えております。

当社は「人と保険の未来をつなぐ～Fintech Innovation～」という企業テーマを掲げ、独自開発した『保険IQシステム<sup>®</sup>』、『ASシステム』及び『AS-BOX』を活用し、店舗及びシステムユーザーの更なる拡大を目指しております。また、DXプロジェクトを推進し、いつでもどこでも『保険クリニック<sup>®</sup>』のサービスが受けられるよう、お客様に最良のサービスを提供することを目指し、保険分析・販売支援におけるプラットフォームとしての事業展開を推進しております。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

#### ①保険販売事業

直営店舗部門は、当第3四半期連結累計期間における2店舗の新規出店により、3月末は48店舗となりました。①Web広告、②電話相談・オンライン相談への積極的な誘導という施策を実施した結果、WEBからの予約数は大幅に増加しましたが、1月から3月までの緊急事態宣言により直接店舗へ立ち寄りのお客様が減少したことから、集客数はやや伸び悩んで推移しました。

法人営業部門は、税制改正の影響が続いており、前年同期を下回る結果となりました。

この結果、同事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は2,050,060千円(前年同期比1.0%増)、セグメント利益は364,271千円(同19.9%減)となりました。

#### ②ソリューション事業

FC部門は、FC店舗数が当第3四半期連結累計期間に16店舗増加し、3月末は197店舗となったことから、手数料収入や月額利用料が大幅に伸びました。引き続き、①新規リクルート活動の強化、②既存代理店への追加出店の提案、③店舗運営指導要員の派遣という施策を実施し、他業界による新規参入者への支援と取り込みを行っていきます。

AS部門は、8月に保険代理店の大型解約があり、また在宅勤務の増加により見込み先企業において検討が遅れ、ID数は低調に推移しました。その一方で保険販売に積極的な地方銀行は増加傾向にあり、3月末における銀行の導入は25行となりました。引き続き大手保険会社をはじめとした大型案件は複数継続しており、具体的な導入に向けての検討が進んでおります。今後も全国規模の金融機関や大手保険会社、地方銀行、企業系代理店による新規導入を目指します。

この結果、同事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は954,982千円(前年同期比8.3%増)、セグメント利益は270,248千円(同14.9%減)となりました。

#### ③システム事業

子会社である株式会社インフォディオは、当第3四半期連結累計期間における「スマートOCR<sup>®</sup>」(注1)の売上が大きく伸びました。引き続き多くの企業や官公庁からお問い合わせを頂いており、株式会社JTBや独立行政法人統計センター、国税庁(注2)等からの導入案件受注へ結び付けております。また、受託開発も好調に推移しており、売上高を大きく伸ばしました。

この結果、同事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は389,057千円(前年同期比52.7%増)、セグメント利益は49,305千円(同2.8%増)となりました。

(注1)「スマートOCR」とは、AI(人工知能)を搭載し、ディープラーニング技術(深層学習、人間が自然に行うタスクをコンピュータに学習させる機械学習の手法の一つ)を活用した、非定型帳票対応の次世代型光学的文字認識システムです。

(注2)国税庁の「確定申告書等作成コーナーの源泉徴収票OCR機能」において導入された「スマートOCR」の売上は、主に第27期以降に計上される予定です。

当社グループは2021年6月期を「投資・準備期間」と位置づけております。3年後のあるべき姿に向けて計画的な先行投資を行っており、前第3四半期連結累計期間と比較して販売費及び一般管理費が増加しました。

具体的には、①デジタル化に向けたシステム開発、②成長戦略に対応するための人財採用及び本社増床、③認知度向上を狙ったテレビCMの放映を実施しました。一方、新型コロナウイルス感染症の拡大を背景に、オンライン会議システム導入に伴う交通費の抑制等、営業活動に係る一部の費用を抑制いたしました。

この結果、販売費及び一般管理費につきましては、2,635,661千円（前年同期比11.9%増）となりました。

以上の施策により、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高3,394,100千円（前年同期比7.2%増）、営業利益284,972千円（同34.1%減）、経常利益290,167千円（同33.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益174,211千円（同36.6%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は2,563,195千円となり、前連結会計年度末に比べ69,638千円減少いたしました。これは主に現金及び預金が320,821千円減少し、売掛金が232,557千円増加したことによるものであります。固定資産は1,441,628千円となり、前連結会計年度末に比べ100,991千円増加いたしました。これは主に有形固定資産が60,448千円、ソフトウェアが26,945千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、4,004,824千円となり、前連結会計年度末に比べ31,353千円増加いたしました。

### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は409,215千円となり、前連結会計年度末に比べ40,017千円減少いたしました。これは主にその他の流動負債が34,464千円減少したことによるものであります。固定負債は23,571千円となり、前連結会計年度末に比べ216千円減少いたしました。これは主に長期未払金が434千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、432,786千円となり、前連結会計年度末に比べ40,233千円減少いたしました。

### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は3,572,037千円となり、前連結会計年度末に比べ71,587千円増加いたしました。これは利益剰余金が71,757千円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は89.2%（前連結会計年度末は88.1%）となりました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,105,730	1,784,909
売掛金	414,638	647,196
その他	112,826	132,246
貸倒引当金	△361	△1,156
流動資産合計	2,632,834	2,563,195
固定資産		
有形固定資産	212,952	273,401
無形固定資産		
のれん	89,294	80,918
ソフトウェア	344,705	371,651
ソフトウェア仮勘定	24,924	29,446
その他	93,893	80,798
無形固定資産合計	552,817	562,814
投資その他の資産		
投資有価証券	100,027	100,027
保証金	339,254	365,189
繰延税金資産	47,665	40,177
その他	87,919	100,019
投資その他の資産合計	574,865	605,412
固定資産合計	1,340,636	1,441,628
資産合計	3,973,470	4,004,824

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	47,469	62,741
未払金	118,878	144,509
未払費用	50,847	35,420
未払法人税等	60,300	43,239
解約調整引当金	14,412	14,603
株主優待引当金	10,474	—
その他の引当金	3,684	—
その他	143,166	108,702
流動負債合計	449,232	409,215
固定負債		
長期未払金	2,616	2,181
その他	21,171	21,389
固定負債合計	23,787	23,571
負債合計	473,020	432,786
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,319,154	1,319,154
資本剰余金	1,262,230	1,262,230
利益剰余金	918,584	990,341
自己株式	△221	△391
株主資本合計	3,499,747	3,571,334
新株予約権	702	702
純資産合計	3,500,450	3,572,037
負債純資産合計	3,973,470	4,004,824

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2021年3月31日)
売上高	3,166,788	3,394,100
売上原価	378,424	473,274
売上総利益	2,788,364	2,920,825
解約調整引当金繰入額	△316	191
差引売上総利益	2,788,680	2,920,634
販売費及び一般管理費	2,356,368	2,635,661
営業利益	432,311	284,972
営業外収益		
受取利息	253	210
受取賃貸料	4,019	16,701
受取保険金	—	175
助成金収入	1,130	—
その他	73	1,300
営業外収益合計	5,476	18,388
営業外費用		
支払利息	107	105
賃貸収入原価	823	12,543
その他	443	544
営業外費用合計	1,375	13,193
経常利益	436,413	290,167
特別利益		
固定資産売却益	—	289
特別利益合計	—	289
特別損失		
固定資産除却損	3,795	2,841
特別損失合計	3,795	2,841
税金等調整前四半期純利益	432,617	287,616
法人税、住民税及び事業税	144,159	105,917
法人税等調整額	13,763	7,488
法人税等合計	157,922	113,405
四半期純利益	274,694	174,211
親会社株主に帰属する四半期純利益	274,694	174,211



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2021年3月31日)
四半期純利益	274,694	174,211
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	—	—
四半期包括利益	274,694	174,211
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	274,694	174,211

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書において、追加情報に記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定について重要な変更はありません。